



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年1月31日

上場会社名 株式会社 クエスト

上場取引所 東

コード番号 2332 URL <https://www.quest.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清澤 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 塚田 治樹

TEL 03 - 3453 - 1181

四半期報告書提出予定日 2019年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	6,988	7.5	517	573.9	538	441.7	375	417.8
2018年3月期第3四半期	6,501		76		99		72	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	72.60	
2018年3月期第3四半期	14.02	

2018年3月期第2四半期までは連結業績を開示していましたが、2018年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しています。そのため、2018年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	5,541	4,223	76.2	817.20
2018年3月期	5,475	4,064	74.2	786.39

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 4,223百万円 2018年3月期 4,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		30.00	30.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,450	8.3	610	696.9	639	492.1	447	483.9	86.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	5,487,768 株	2018年3月期	5,487,768 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	319,461 株	2018年3月期	319,428 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	5,168,320 株	2018年3月期3Q	5,168,530 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2018年4月1日～2018年12月31日）におけるわが国経済は、雇用環境の改善や設備投資の持ち直しの動きが継続し、緩やかな回復基調が続く一方で、米中の貿易摩擦問題等により先行き不透明な状況で推移しました。

当社の属する情報サービス業界においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2018年11月分確報」の情報サービス業の項の中から、当社が主に属するソフトウェア開発・プログラム作成（システムインテグレーション）とシステム等管理運営受託を合算した業務種類別売上によると、2018年4月～2018年11月は前年同期比2.5%の増加となり緩やかな回復基調で推移しています。

当社は、現下の経営環境を踏まえ、経営ビジョン“お客様とともにITの価値を高める信頼のパートナー”の実現を目指し、以下の施策を推進し中期経営計画の達成に向けて邁進しています。

1) 事業構造の変革（お客様へ付加価値がより高いサービスを提供し収益性向上）

- ・ソリューション事業の拡大（ERP/CRM、ビッグデータ、クラウド、セキュリティ、運用、モバイル）
- ・請負型システム構築のQCDS遵守とプロジェクトマネジメント強化
- ・一括アウトソーシングの拡大

2) 産業ポートフォリオの変革（成長する産業の新規顧客開拓）

- ・既存のエレクトロニクス、金融、エンタテインメント分野に加え、通信、公共（エネルギー、鉄道）、自動車等分野のサービス拡大
- ・業務提携先とのシナジー効果創出

3) 事業体質の強化

- ・品質管理体制強化

社長直轄のプロジェクト監理室と経営会議の専門委員会として重要プロジェクトレビュー会議を設置し、プロジェクト管理の強化を全社的に徹底するとともに、経営レベルでの受注案件の精査を行い不採算プロジェクトの防止に努めます。

- ・ITプロフェッショナル人材育成プログラムの強化と新卒の積極採用
- ・技術、リソースを補完する協力会社連携強化

4) 新技術の仕込み

- ・成長するデジタルネットワーク社会に不可欠な新技術の仕込み
（新技術、新ソリューション、プロフェッショナル人材育成に先行投資）
- ・中期計画達成に向けたM&Aの推進

当第3四半期累計期間における当社の経営成績は以下のとおりです。

売上高は、前年同期比7.5%増の69億88百万円となりました。利益については、増収効果及びプロジェクトマネジメント強化による不採算案件の抑制、前期に発生したプロジェクト損失が当期は発生していないこと等により営業利益は前年同期比573.9%増の5億17百万円、経常利益は前年同期比441.7%増の5億38百万円、四半期純利益は前年同期比417.8%増の3億75百万円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

システム開発事業については、主要顧客（エレクトロニクス関連）、金融（銀行）分野顧客からの開発案件が増加し、売上高は前年同期比4.7%増の38億35百万円となりました。セグメント利益は増収効果及びプロジェクトマネジメント強化による不採算案件の抑制、前期に発生したプロジェクト損失が当期は発生していないこと等により、前年同期比156.6%増の6億16百万円となりました。

インフラサービス事業については、主要顧客（エレクトロニクス関連）、公共（エネルギー）分野顧客、エンタテインメント分野顧客へのサービス拡大により、売上高は前年同期比11.2%増の31億25百万円となりました。セグメント利益は増収効果により前年同期比19.3%増の5億1百万円となりました。

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しています。

2. セグメント利益については、全社費用等の配分前で記載しています。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

<資産>

当第3四半期会計期間末における資産の残高は55億41百万円となり、前事業年度末に比べ65百万円増加しました。これは主に売掛金が1億14百万円増加したものの投資有価証券が87百万円減少したこと等によるものです。

<負債>

当第3四半期会計期間末における負債の残高は13億18百万円となり、前事業年度末に比べ93百万円減少しました。これは主にプロジェクト損失引当金が96百万円減少したこと等によるものです。

<純資産>

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は42億23百万円となり、前事業年度末に比べ1億59百万円増加しました。これは主に繰越利益剰余金が2億20百万円増加したもののその他有価証券評価差額金が60百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期業績予想につきましては、2019年1月23日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,975,051	2,010,402
受取手形及び売掛金	1,885,623	2,009,750
仕掛品	50,265	86,207
前払費用	102,494	96,739
その他	4,705	5,095
流動資産合計	4,018,140	4,208,194
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	18,840	21,003
車両運搬具（純額）	7,843	5,884
工具、器具及び備品（純額）	16,709	21,081
土地	13,460	376
有形固定資産合計	56,854	48,345
無形固定資産		
ソフトウェア	18,598	16,235
その他	5,643	5,643
無形固定資産合計	24,242	21,879
投資その他の資産		
投資有価証券	982,167	894,400
関係会社株式	76,399	76,399
長期貸付金	12,000	10,200
長期前払費用	27,084	53,637
繰延税金資産	142,314	101,243
その他	136,519	127,344
投資その他の資産合計	1,376,485	1,263,225
固定資産合計	1,457,582	1,333,450
資産合計	5,475,722	5,541,645

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	325,614	247,216
未払金	118,973	168,973
未払費用	122,243	101,958
未払法人税等	17,013	80,700
未払消費税等	72,191	98,204
前受金	20,779	37,057
預り金	61,952	112,955
賞与引当金	329,843	194,497
プロジェクト損失引当金	96,687	7
流動負債合計	1,165,299	1,041,571
固定負債		
退職給付引当金	242,827	273,256
役員退職慰労引当金	3,275	3,275
固定負債合計	246,102	276,531
負債合計	1,411,402	1,318,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	491,031	491,031
資本剰余金		
資本準備金	492,898	492,898
その他資本剰余金	27	27
資本剰余金合計	492,926	492,926
利益剰余金		
利益準備金	29,890	29,890
その他利益剰余金		
別途積立金	830,000	830,000
繰越利益剰余金	2,245,513	2,465,658
利益剰余金合計	3,105,403	3,325,548
自己株式	△223,122	△223,152
株主資本合計	3,866,238	4,086,352
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	198,082	137,189
評価・換算差額等合計	198,082	137,189
純資産合計	4,064,320	4,223,542
負債純資産合計	5,475,722	5,541,645

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	6,501,902	6,988,158
売上原価	5,831,508	5,863,471
売上総利益	670,393	1,124,687
販売費及び一般管理費	593,658	607,586
営業利益	76,734	517,100
営業外収益		
受取利息	852	9
受取配当金	18,394	20,090
経営指導料	1,800	—
その他	1,990	1,291
営業外収益合計	23,037	21,391
営業外費用		
支払利息	355	—
自己株式取得費用	3	0
その他	0	—
営業外費用合計	359	0
経常利益	99,413	538,491
特別利益		
固定資産売却益	—	12,682
特別利益合計	—	12,682
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	5,100
抱合せ株式消滅差損	1,341	—
特別損失合計	1,341	5,100
税引前四半期純利益	98,071	546,074
法人税、住民税及び事業税	54,302	102,933
法人税等調整額	△28,695	67,945
法人税等合計	25,606	170,879
四半期純利益	72,465	375,195

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。